

「落橋防止システム設計の手引き(平成 14 年 8 月)」の追加訂正について

「落橋防止システム設計の手引き(平成 14 年 8 月)」につきましては、各方面の皆様方にご利用いただき関係者一同感謝致しております。本書の内容につきまして、既に平成 15 年 2 月に本ＨＰ上にて、誤りあるいは表現が不明確な部分について訂正のご案内（下表中、52 頁、53 頁の訂正）をさせていただいておりますが、追加訂正の必要な箇所がありましたので、皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、お詫び致しますとともに、下記の通り訂正いただきたくよろしくお願い申し上げます。

訂正箇所	誤	正
46 頁 8 行目	$\rho_t' = \dots = \dots \times 582 = 34(\text{kN})$	$\rho_t' = \dots = \dots \times 428 = 25(\text{kN})$
47 頁 2 行目	$\rho_t = \dots = 34 \times (1+0.41) = 48(\text{kN})$	$\rho_t = \dots = 25 \times (1+0.41) = 35(\text{kN})$
52 頁 下から 16 行目	胸壁基部の終局曲げモーメントを	胸壁基部の 最大抵抗 曲げモーメントを
52 頁 下から 9 行目	M_u : 胸壁の終局曲げモーメント	M_u : 胸壁の 最大抵抗 曲げモーメント
53 頁 2 行目	許容応力度の割増しは行わない。	許容応力度の割増し 1.5 を考慮する。
53 頁 11 行目	$< \tau_{a3} = 0.85(\text{N/mm}^2)$	$< \tau_{a3} = 1.5 \times 0.85 = 1.28(\text{N/mm}^2)$
55 頁 4 行目	…以下に設計計算例を示す。	…以下に設計計算例を示す。 なお、ここではケーブル方向の設計力を $H=612.5\text{kN}$ とする。
59 頁 下から 2 行目	$\rho_t = \dots = \dots \times 330 = 93(\text{kN})$	$\rho_t = \dots = \dots \times 270 = 76(\text{kN})$
59 頁 下から 1 行目	$\rho_{ta} = 1.5 \times 76.8 = 115(\text{kN})$	$\rho_{ta} = 1.5 \times 102.8 = 154(\text{kN})$
60 頁 5 行目	$L=670(\text{mm})$	$L=480(\text{mm})$
60 頁 7 行目	$\rho_t = 93(\text{kN})$	$\rho_t = 76(\text{kN})$
60 頁 8 行目	$\tau_o = \dots = 93 \times 10^3 / 31.8 \times \pi \times 670 = 1.39(\text{N/mm}^2)$	$\tau_o = \dots = 76 \times 10^3 / 31.8 \times \pi \times 480 = 1.58(\text{N/mm}^2)$
60 頁 9 行目	$< \tau_{oa} = 1.40(\text{N/mm}^2)$	$< \tau_{oa} = 1.5 \times 1.40 = 2.10(\text{N/mm}^2)$
116 頁 下から 11 行目	($\sigma_a=79(\text{kN/本})$, $\tau_a=93(\text{kN/本})$)	($\rho_a=25.5(\text{kN/本})$, $\tau_a=29.4(\text{kN/本})$)
116 頁 下から 4 行目	$\rho_a=1.5 \times 79=119(\text{kN})$	$\rho_a=1.5 \times 25.5=38(\text{kN})$
116 頁 下から 1 行目	$\tau_a=1.5 \times 93=140(\text{kN})$	$\tau_a=1.5 \times 29.4=44(\text{kN})$